

令和 7 年度における蔵王山火山防災協議会の活動について

令和 8 年 1 月 9 日

1 各種訓練の実施

・以下のとおり訓練を実施した。

訓練名	実施日	訓練内容	参加機関
通信訓練	令和 7 年 4 月 17 日（木）	蔵王山での噴火警報発表時における防災 対応機関相互の情報伝達体制を確認する ため、次の事項に関する訓練を行った。 ・噴火警戒情報の伝達 ・防災対応状況の報告	宮城県、山形県、 関係市町、消防、 関係観光団体等
通信訓練 （再送）	令和 7 年 6 月 19 日（木）	4 月の通信訓練で通信不達だった防災対 応機関（国関係機関）に対し、伝達方法 を修正したうえで、受信可能か訓練を行 った。 ⇒正常な伝送が確認できた。	宮城県、国関係機 関 （山形県、関係市 町等は参考伝達）
図上訓練	令和 7 年 12 月 15 日（月） （中止）	蔵王山の噴火警戒レベル上昇時に気象庁 から発表される火山防災情報等につい て、蔵王山火山防災対策に基づく各機関 の対応を確認・共有し、災害対応能力の 向上を図ることを目的として企画。 令和 7 年 12 月 8 日の青森県東方沖を 震源とする地震に伴い、宮城県及び県内 市町村に「北海道・三陸沖後発地震注意 情報」の発表がされたため、中止の決定 をした。	宮城県関係部署、 山形県関係部署、 関係市町、仙台管 区气象台、山形地 方气象台

2 避難促進施設について

- ・避難促進施設の指定及び避難確保計画の作成完了に向けて、関係市町の支援を行った。

※資料 1－3 参照 令和 7 年度は、蔵王町所在の 3 施設が内閣府の支援を受け作成した。

閉鎖中施設を除き、残り蔵王町の 1 施設（令和 8 年 3 月作成完了予定）。

3 蔵王山想定火口域の立入規制緩和に向けた現地調査

令和 5 年度協議会において、賽の磧登山道の立入規制緩和について、丸山沢源泉付近において登山道未整備が要因と考えられる負傷事故や遭難事故が発生しているため、登山上の安全確保という観点からも注意喚起標識や危険区域への立ち入り防止柵の設置等を行い、規制解除又は緩和を検討することが必要であるとの意見があったことから、現況確認調査を行うこととしていたもの。

- ・令和 6 年度 …荒天予報のため延期
- ・令和 7 年 6 月 25 日（水）…荒天予報のため延期
- ・令和 7 年 9 月 5 日（金）…荒天予報のため延期
- ・令和 7 年 10 月 7 日（火）…実施 ※資料 1－4、1－5 参照

調査参加機関：宮城県防災推進課、観光戦略課、蔵王町、川崎町、仙南消防本部 白石警察署

4 関係機関による担当国会議の開催

- ・関係機関による担当国会議を開催し、各議題について協議・検討した。

会議	実施日	議題	参加機関
第 1 回	令和 7 年 10 月 31 日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年度における蔵王山火山防災協議会の活動について ・避難促進施設の指定及び避難確保計画の作成状況について ・賽の磧登山道の立入規制緩和に係る現地調査について 	宮城県、山形県、関係市町、仙台管区气象台、山形地方气象台
第 2 回	令和 7 年 12 月 23 日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵王山火山防災協議会幹事会について ・協議会資料について 	宮城県、山形県、関係市町、仙台管区气象台、山形地方气象台

5 その他

- 観光客等に対する注意喚起標識の設置
 - ・蔵王レストハウス周辺や御釜周辺散策道等に火山活動に関する注意喚起標識を設置した。
※令和８年度は物価高・人件費再計算に伴い、負担金増加の見込み。
- 火山防災強化推進都道府県連盟活動への参加
 - ・火山防災強化推進都道府県連盟総会に会長が参加